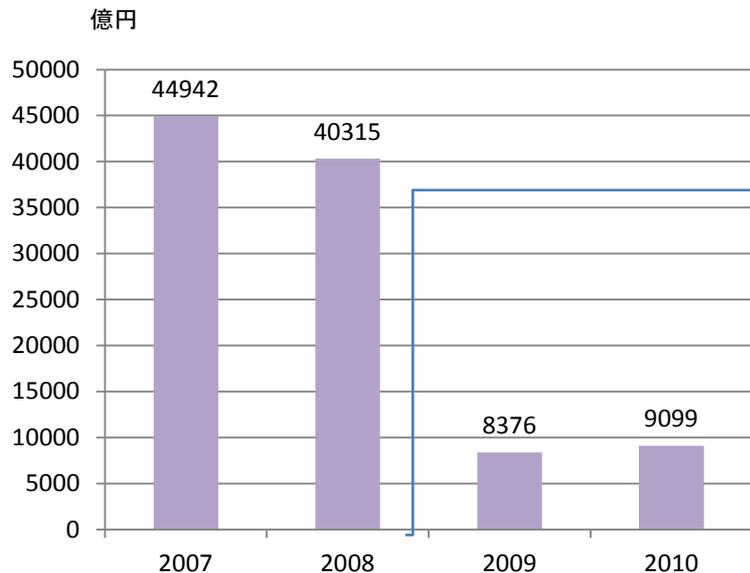


市場の出：自社株取得状況

上場会社の自社株取得金額



金融危機後、自社株取得金額は著しく減少している。

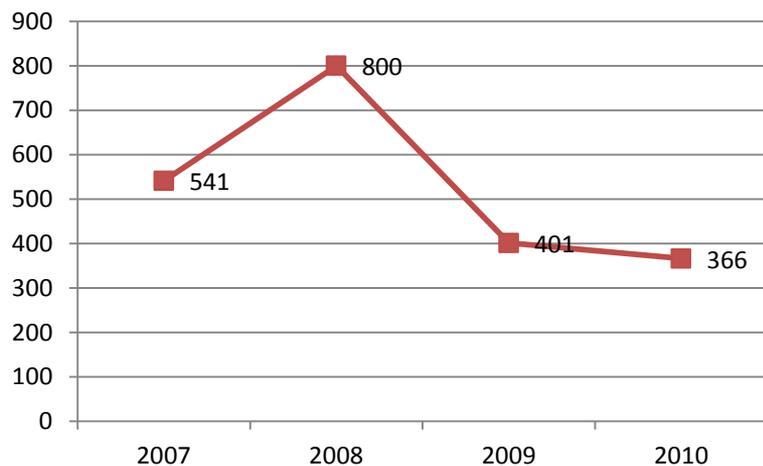
上場企業の
手元資金の増加

自社株取得ルールの緩和
・市場からの買付で、出来高の100%でも良い(通常は25%)

※このルールは金融危機以降導入されて、一応10月末まで(延長の可能性もあり)

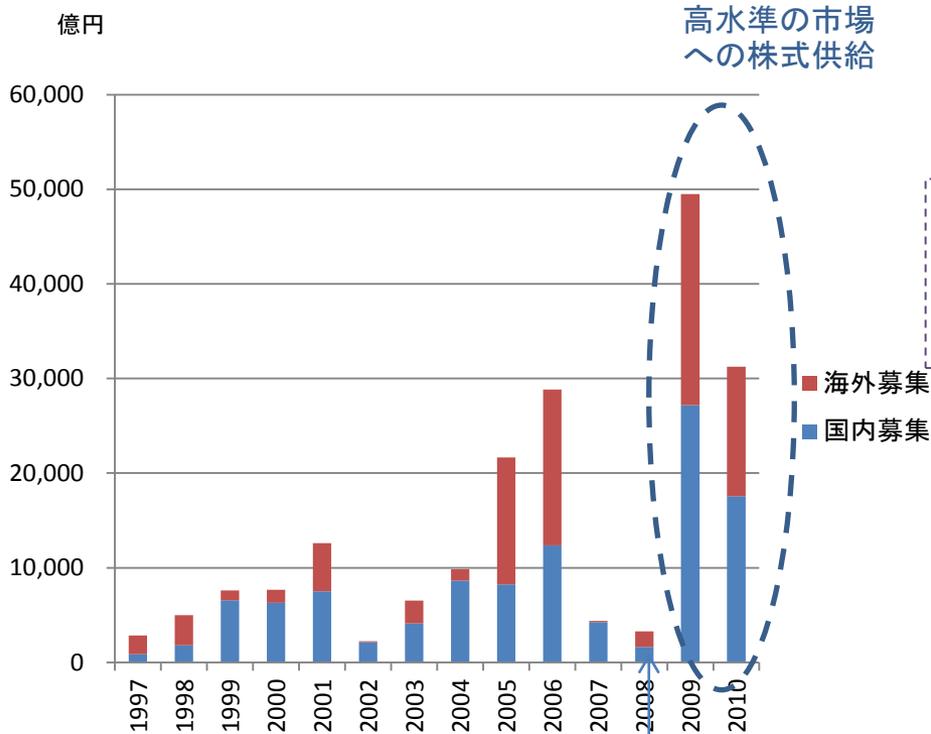
自社株取得増加への期待

上場会社の自社株取得社数



市場の入り: 公募増資の現状

公募増資の推移



※日本証券業協会資料より当社作成

リーマン・ショック

一件当たりの調達額が大型化

- ・2009年度: 55社 (1社平均: 1041億円)
- ・2010年度: 49社 (1社平均: 566億円)

事業再構築のための
リスクマネーが必要

震災復興への資本増加需要
が高まる可能性も

公募の
代替手段
として

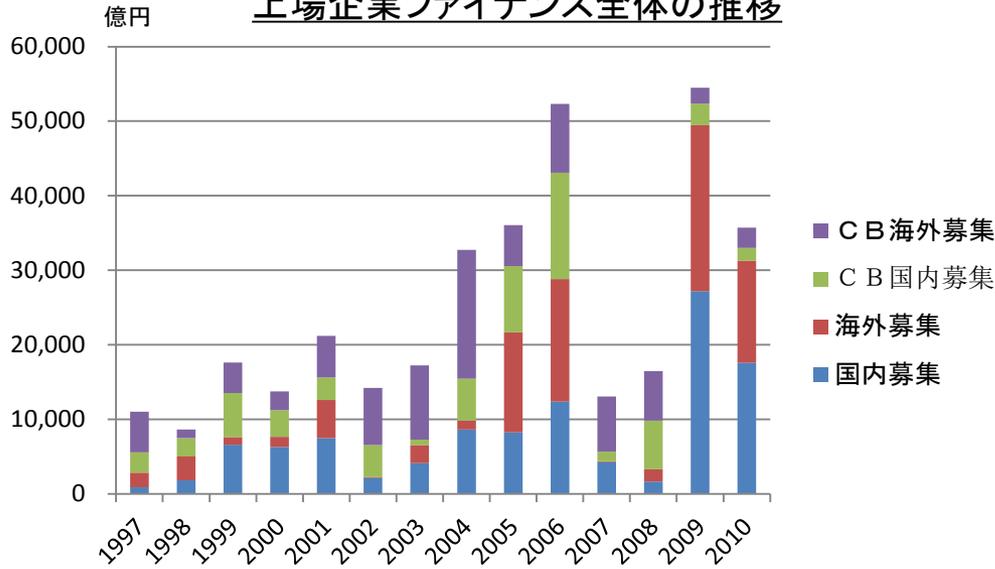
今後も高水準の
大規模な
資本調達等が
見込まれる

ライツイシュー

CB
(新株予約権付社債)

ファイナンスと公募増資の状況

上場企業ファイナンス全体の推移



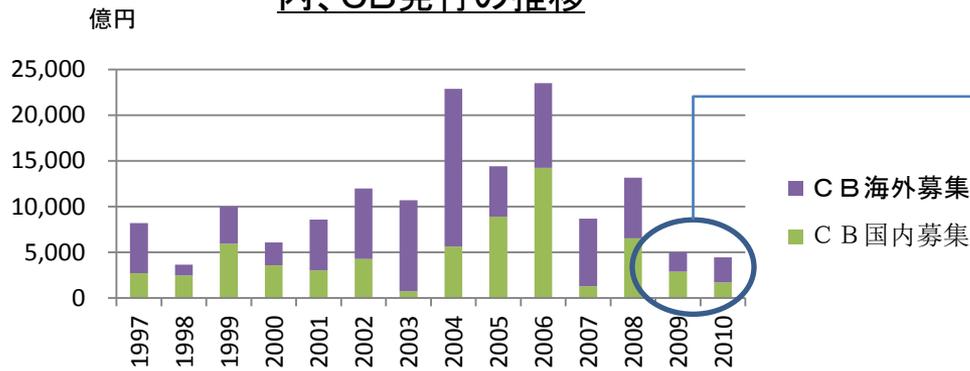
直接市場に株式
が供給されない

転換株価を時価
より高めに設定

CBの利点

上場会社のファイナンスにおいて、CBがもっと活用できないか

内、CB発行の推移



金融危機後、CBの発行は
極端に減少していた

自社株取得と組み合わせた
リキャップCBの活用

※日本証券業協会資料より当社作成